

見取りと点検は重なりを持っています

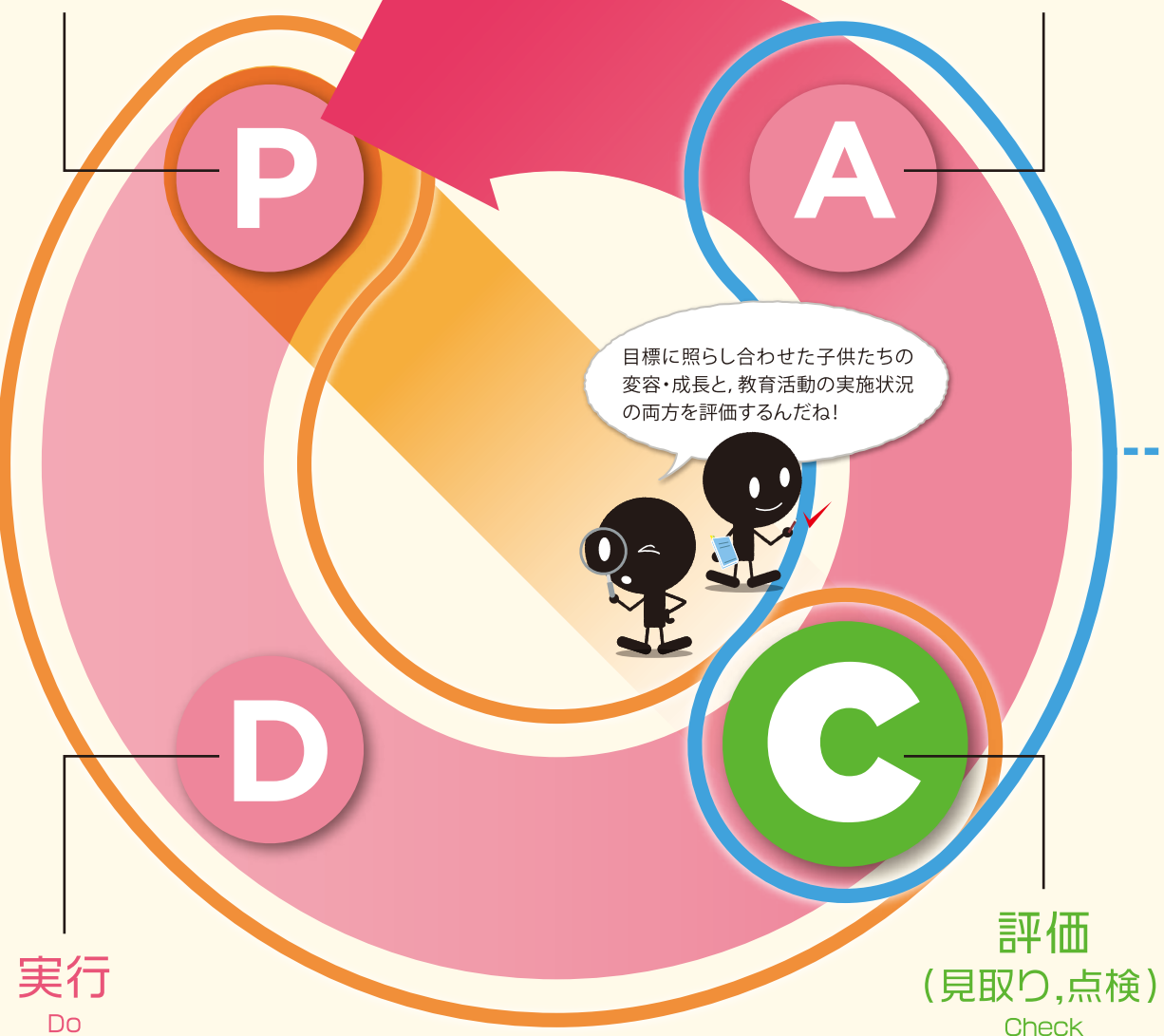
子供たちが必要な力を身に付けられたのかを把握すること、そして、全校的な教育活動の状況を把握することは、いずれもなくてはならないものなのです。次の取組を改善するためには見取りも点検もどちらも欠かせません。

🔍 見取り



計画
Plan

改善
Action



実行
Do

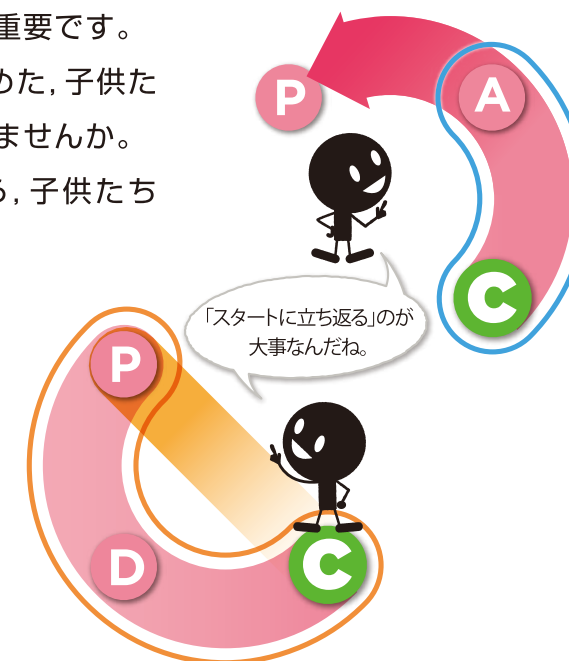
評価
(見取り, 点検)
Check



☑️ 点検

評価(見取り, 点検)のカギは「スタートに立ち返る」ー目標・計画にあります

先生方が目指した目標や計画に立ち返ることが重要です。見取りの際に、先生方が立てた計画において決めた、子供たちに身に付けさせたい力を意識することから始めませんか。教育活動の点検の際にも、計画に照らしながら、子供たちに力を身に付けさせるのに役立つ活動となったかを意識しながら情報収集することから始めませんか。目標・計画に常に立ち返り、見取りと点検を地道に行い、改善した上で、次の計画を充実させていくことこそが、教育におけるPDCA(検証改善)サイクルの推進にほかなりません。



見取りと点検を生かすカギは「スピード感」にあります

PDCAサイクルには中・長期的なものや短期的なものがあるのは当然です。例えるなら、三年間を見据えたサイクルと、ある学校行事の期間で見取りと点検を行うものということです。見取りの結果は、一年後の計画にのみ反映すればよい、来年の学校行事にのみ反映すればよいということではありません。見取りの結果は、現在進められている指導計画を修正するのに即時に生かされなくてはなりません。子供たちの声は、今準備が進んでいる学校行事に、来月の行事に、スピード感を持って生かしていくことが重要になってきます。

子供たちが自分らしい生き方を実現するためにも、PDCAサイクルを回す力は不可欠となるでしょう。であれば、これまで解説してきたような、PDCAサイクルを意識できている学校・見取りと点検がすぐに改善に生かされる学校で生活したかは、基礎的・汎用的能力の育成に影響を与えることは想像に難くないでしょう。

この資料が、先生方の悩みを解消するきっかけになることを願っています。